



Kodak

i5000 シリーズスキャナー

パッチコード情報

目次

パッチパターンの詳細	4
パッチパターンの方向	5
バーパターンの詳細	7
パッチのポジショニング	9
用紙の詳細	10

パッチコードはページに印刷されたバーのパターンで、コダックスキャナーによるスキャン時にスキャナーまたはスキャンアプリケーションのある機能を起動するようにスキャナーまたはスキャンアプリケーションに指示するものです。ドキュメントセパレーションでは一般的にパッチページが使用されません。通常、パッチページは独立した物理的な用紙で、それらのページにはパッチパターンが印刷されており、スキャンされるページのスタックに挿入されます。パッチページによって起動される機能は、特定のスキャナーまたはスキャンアプリケーションによって決定されます。コダック i5000 シリーズスキャナーで正常に機能するパッチページを作成する際の要件について以下に示します。パッチパターンのサイズと場所については非常に詳細な要件になるため、慎重を期してパッチページを正しく作成する必要があります。パッチページを使用して有効にできるスキャナー機能については、『Scanning Setup Guides for TWAIN and ISIS』またはスキャンアプリケーションドキュメントで説明しています。

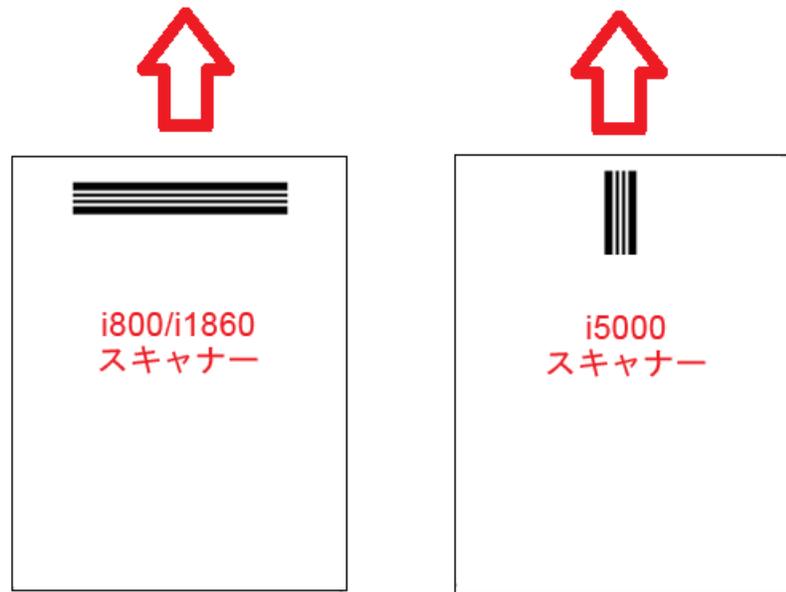
コダック i5000 シリーズスキャナーは物理的なパッチリーダーセンサーを備えていません。i5000 シリーズスキャナーは、イメージングセンサーを使用してスキャン対象ページの前後をスキャンしてパッチパターンを感知し、パッチ読み取りを実行します。スキャナー用に拡張されたファームウェアとドライバ機能が用意されており、これによりスキャナーは6個のパッチパターンのすべてを感知することができます。

注：この機能の利用のためにファームウェアとドライバのアップデートが必要になる場合があります。

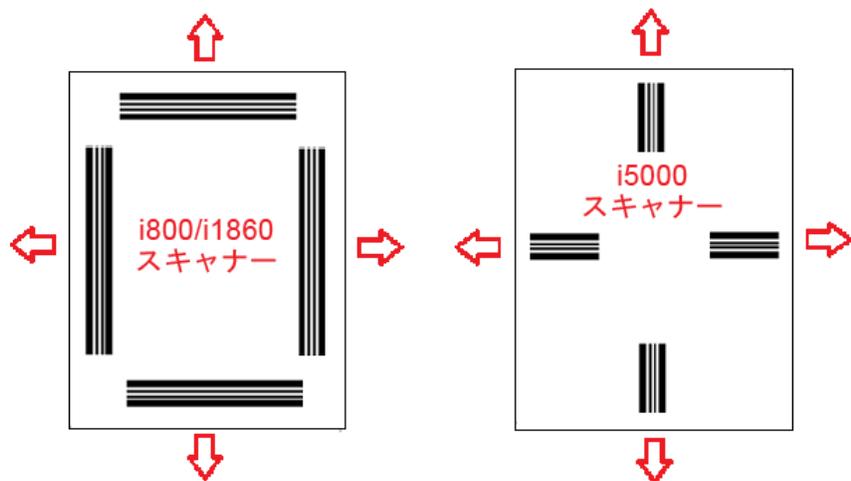
コダック *Imagelink* 9500 スキャナーやコダック i800 または i1800 シリーズスキャナーなどのコダックスキャナーは、物理的なパッチセンサーを使用してスキャン対象ページのパッチパターンの読み取りを行います。コダック i600、i700 または i4000 シリーズスキャナーなどのスキャナーは、イメージングセンサーを使用してパッチパターンの読み取りを行いますが、カラートグルパッチの読み取りに限定されます。

コダック i5000 シリーズスキャナーは、パッチページの読み取り方法が他のスキャナーと異なるため、できる限り一貫性のあるパッチ認識を実行するためにパッチページの構成を調整する必要があります。

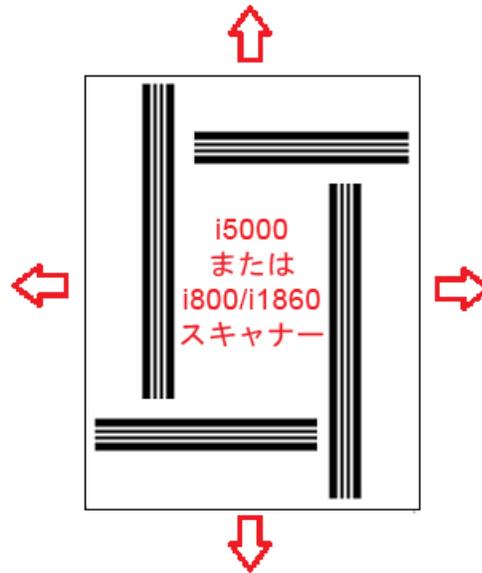
i5000シリーズスキャナーとコダックの他のスキャナーのパッチ読み取りシステムの間で異なる最も重要な点は、i5000シリーズスキャナーではドキュメントのリードエッジに沿ったバーのみが認識されるということです。



どのような方向にも給紙をできるようにするために、ページの各エッジにパッチパターンを持つパッチページを作成するのが一般的です。



また、どのようなコダックスキャナーについてもカメラパッチ読み取りまたはセンサーパッチ読み取りで一貫性のある読み取りが行われるパターンを持つパッチシートを作成することも可能です。



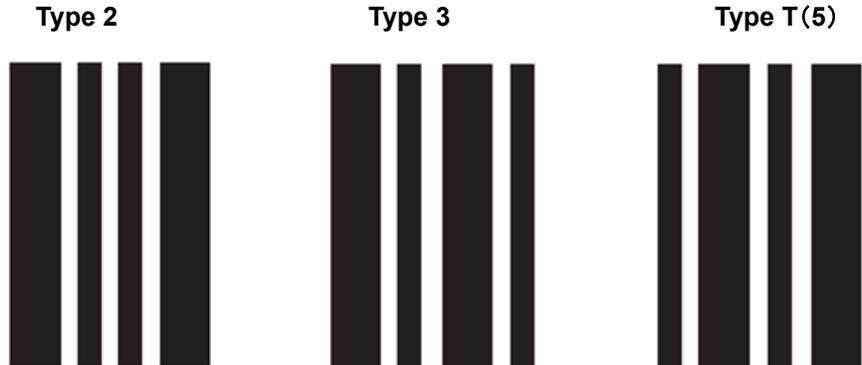
コダックの Web サイトのコダック i5000 スキャナー > サポート > ユーザーマニュアル領域から、各種パッチパターンを組み合わせたサンプル PDF ファイルをダウンロードしてご利用いただけます。

注： A4 および US レターサイズ用紙の印刷用にサイズ設定された PDF バージョンが用意されています。また、ビジネス用にパッチをカスタマイズできる TIFF ソースファイルも用意されています。記載された指示に従ってページがプリンターで正確に印刷されるようにしてください。

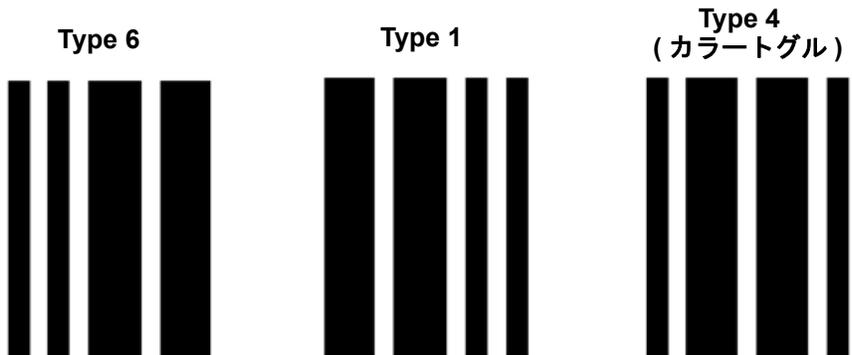
パッチパターンの詳細

以下の2つのパッチ分類があります。

- ドキュメント/パッチセパレーションパッチ (イメージアドレスパッチと呼ばれる場合もある) — 従来からこれらのパッチは、パッチページをセパレータと使用して複数の異なるドキュメントを一度にスキャンする際に使用されます。これらのパッチには、Type 2 (ドキュメントセパレーション)、Type 3 (パッチセパレーション)、Type T (ドキュメントまたはパッチのいずれかのセパレーションに使用可能) があります。



- 機能パッチ — 従来からこれらのパッチページはドキュメントセパレーションには使用されません。これらのパッチは、スキャナー機能 (カラートグルまたは重送検知機能の制御など) を起動したり、ソフトウェア機能を起動する際に使用します。これらのパッチには、Type 1、Type 4 (カラートグル)、Type 6 があります。



注：上記のパッチパターンを印刷してスキャナーで使用しないでください。これらのパターン例は、プロダクションで使用するために正しくサイズ設定されていません。印刷可能な PDF バージョンは、コダックの Web サイトからダウンロードして利用できます。

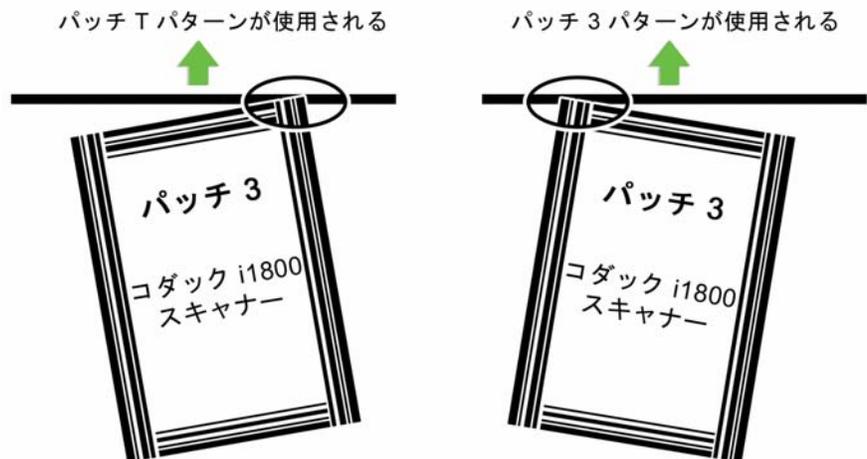
パッチパターンの方向

パッチパターンの方向は重要です。Type 3 パッチは Type T パッチの逆パターンであり、Type 1 パッチは Type 6 パッチの逆パターンになります。パッチページが正しくフォーマットされていない場合、誤ったパッチパターン読み取りが発生する可能性があります。なぜなら、表面カメラまたは裏面カメラによって読み取られる最初のパッチパターンのみが使用されるためです。

たとえば、物理的なパッチリーダーセンサー（コダック i800/i1800 シリーズ スキャナー）を使用してパッチを読み取るスキャナー用に設計された複数のパッチページには、ページの複数のサイドのエッジに伸びるバーが存在します。このパッチページはコダック i800/i1800 シリーズ スキャナーでは正常に機能しますが、コダック i5000 シリーズ スキャナーではこのようなパッチページの読み取りには潜在的に問題があります。



スキャン中にページが傾き、ページの右エッジが最初にカメラを通過した場合、パッチページは Type 3 パッチではなく Type T パッチとして読み取られます。

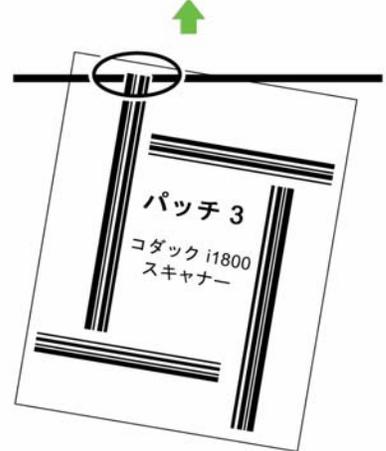


このような潜在的な問題の発生を防ぐには、パッチページが傾いても1つのバー
パターンのみが読み取られるようにパッチパターンを構築する必要があります。

パッチ 3 パターンが使用される



パッチ 3 パターンが使用される



バーパターンの詳細

パッチは、黒いバーとスペースが交互に印刷される平行パターンです。他のドキュメントデータがパッチとして検出されないことがないように、スキャナーは正しくフォーマットされたバーパターンのみをパッチとして認識します。各バー間のバーとスペースの幅については、スキャナーがバーパターンを確実に検出できるように非常に厳密に制御する必要があります。

太いバーは、5 mm (0.20 インチ) ± 0.25 mm (0.01 インチ) の幅にする必要があります。細いバーは 2.03 mm (0.08 インチ) + 0.25 mm (0.01 インチ) の幅にする必要があります。パッチコードの最大幅は 20 mm (0.80 インチ) + 0.25 mm (0.01 インチ) です。パッチバーの最小全長は 50 mm (2 インチ) です。

パッチコード

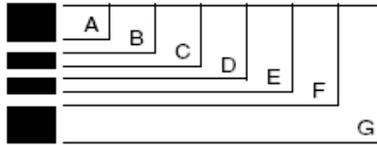
パッチ 2



イメージレベル 2 を現在のドキュメントに割り当てます。

パッチコードの仕様

パッチ 2



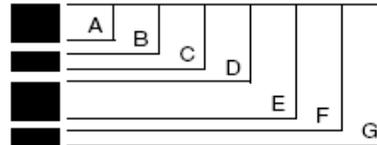
ゾーン	インチ		ミリメートル	
	低レンジ	高レンジ	低レンジ	高レンジ
A	0.19	0.21	4.83	5.33
B	0.27	0.29	6.86	7.37
C	0.35	0.37	8.89	9.40
D	0.43	0.45	10.92	11.43
E	0.51	0.53	12.95	13.46
F	0.59	0.61	14.99	15.49
G	0.79	0.81	20.01	20.57

パッチ 3



イメージレベル 3 を現在のドキュメントに割り当てます。

パッチ 3

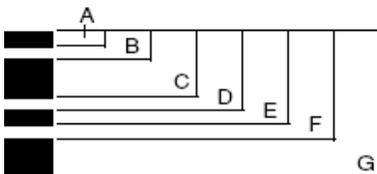


ゾーン	インチ		ミリメートル	
	低レンジ	高レンジ	低レンジ	高レンジ
A	0.19	0.21	4.83	5.33
B	0.27	0.29	6.86	7.37
C	0.35	0.37	8.89	9.40
D	0.43	0.45	10.92	11.43
E	0.63	0.65	16.00	16.51
F	0.71	0.73	18.03	18.54
G	0.79	0.81	20.07	20.57

パッチ T/T パッチ



パッチ T/T パッチ



ゾーン	インチ		ミリメートル	
	低レンジ	高レンジ	低レンジ	高レンジ
A	0.07	0.09	4.83	5.33
B	0.15	0.17	6.86	7.37
C	0.35	0.37	8.89	9.40
D	0.43	0.45	10.92	11.43
E	0.51	0.53	16.00	16.51
F	0.59	0.61	18.03	18.54
G	0.79	0.81	20.07	20.57

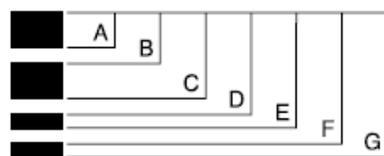
パッチコード

パッチコードの仕様

パッチ 1



パッチ 1

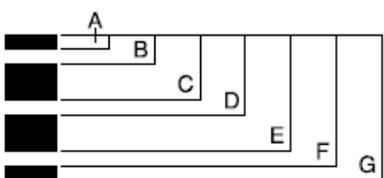


ゾーン	インチ		ミリメートル	
	低レンジ	高レンジ	低レンジ	高レンジ
A	0.19	0.21	4.83	5.33
B	0.27	0.29	6.86	7.37
C	0.47	0.49	11.94	12.45
D	0.55	0.57	13.97	14.48
E	0.63	0.65	16.00	16.51
F	0.71	0.73	18.03	18.54
G	0.79	0.81	20.07	20.57

パッチ 4 / トグルパッチ



パッチ 4 / トグルパッチ

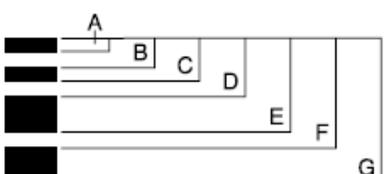


ゾーン	インチ		ミリメートル	
	低レンジ	高レンジ	低レンジ	高レンジ
A	0.07	0.09	1.78	2.29
B	0.15	0.17	3.81	4.32
C	0.35	0.37	8.89	9.40
D	0.43	0.45	10.92	11.43
E	0.63	0.65	16.00	16.51
F	0.71	0.73	18.03	18.54
G	0.79	0.81	20.07	20.57

パッチ 6



パッチ 6



ゾーン	インチ		ミリメートル	
	低レンジ	高レンジ	低レンジ	高レンジ
A	0.07	0.09	1.78	2.29
B	0.15	0.17	3.81	4.32
C	0.23	0.25	5.84	6.35
D	0.31	0.33	7.87	8.38
E	0.51	0.53	12.95	13.46
F	0.59	0.61	14.99	15.49
G	0.79	0.81	20.07	20.57

パッチのポジショニング

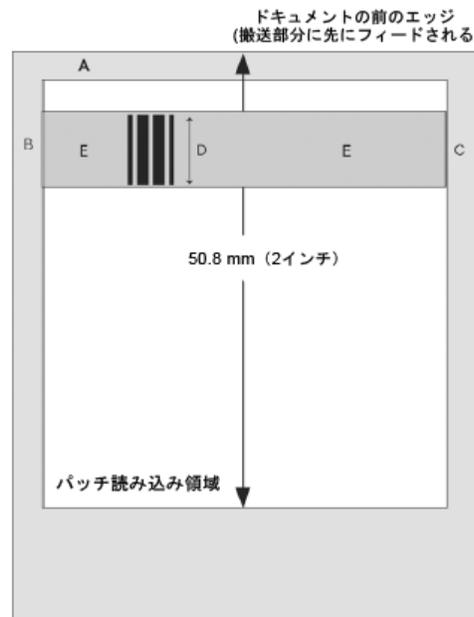
パッチコードの水平/垂直の配置は、信頼できるパッチ読み取りには重要です。パッチコードがドキュメントに不適切に配置されている場合、パッチの読み取りが失敗する可能性があります。

バーが (搬送部分に先にフィードされる) ドキュメントのリードエッジに対して垂直になるようにパッチを示す必要があります。

パッチコードと他の印刷された情報の間には最低 6 mm (0.25 インチ) のスペースが必要です。

パッチコードは、ドキュメントの左右のエッジから最低 6 mm (0.25 インチ) のスペースを設け、ドキュメントのリードエッジから最低 12.7 mm (0.5 インチ) のスペースを設ける必要があります。

パッチ読み取り領域は、ドキュメントのリードエッジから 50.8 mm (2.0 インチ) までの領域となります。パッチ読み取り領域内には最低 19 mm (0.75 インチ) のパッチコードが示される必要があります。



- A = 12.7 mm (0.5 インチ) 以上
- B、C = 6 mm (0.25 インチ) 以上
- D = 最大 19 mm (0.75 インチ)
- E = パッチの左/右に印刷された情報はなし

用紙の詳細

- **用紙のカラー** — 白紙はパッチコード読み取りのために最も信頼できる選択になります。スキャン用のドキュメントを準備するオペレータ（人物）がすぐにパッチページだと判別できるように、明るいカラーの用紙を使用することもできます。最低でも 65% の光源を反射するライトイエローまたはライトパステルのカラー用紙は正常に機能します。パッチページに暗いカラーの用紙を使用した場合、信頼できないパッチ読み取りが発生する可能性があります。
- **印刷** — パッチバーは常に黒で印刷する必要があります。印刷された黒いバーは、20% 未満の光源を反射する必要があります。Avoid photocopying patches. 写真複写機では黒いバーのサイズが大きくなり、空白のサイズが小さくなる傾向にあるため、印刷の仕様が変更されます。
- **用紙サイズ** — パッチページの長さとは幅は、最低 139.7 mm (5.5 インチ) にする必要があります。
- **紙厚** — ソート後にパッチページを再利用したい場合は、紙厚がスタック #2 に正常に収まる程度の剛性の高さが必要になります。詳細については、ユーザーズガイドの第 5 章の「推奨される用紙の仕様」というタイトルのセクションを参照してください。

Kodak